

1. 通学路の見直しは

昨年6月定例会議の一般質問において「通学路について問う」の中で通学路の見直しを質問した。また、教育民生常任委員会でも取りあげられ、現行の通学路に危険性があるため、児童の安全確保のために見直し、検討されたいとの提言がされている。通学時の事故をなくすことは現実的には不可能かもしれないが、危険箇所での事故は何らかの対策をすべきである。開成南小学校の児童が10月12日金曜日の下校時に発生した事故は防げたのではと考える。

事故のあった交差点は信号機がなく、町で設置したカーブミラーはあるが、運転者から遠すぎて見にくい場所にあり、従来から危険箇所としてされている。

児童の通学路は、できるだけ交差点を通らない安全な場所を設定すべきと考えるが、現行の通学路は、車と交差する箇所が多すぎる。特に下島東地区からの通学は、開成駅の自由通路を通って開成南小学校に着くまで、交通量の多い箇所を通過しなければならず、再度通学路の見直しを検討されたい。

そこで町の方針を問う。

- ① 通学路における危険箇所の今後の対応は。
- ② 通学路の緊急点検の実施は可能か。